

資産運用の読み物

経済・投資のあんちよこ



VOL.6

IoTとは、いったいどういうものなの？

今回の話題

2015年4月、アップル・ウォッチが発売され、大きな話題となりました。このアップル・ウォッチに限らずブレスレットやメガネなど、さまざまなウェアラブル端末が登場していますが、その背景にあるのがIoTと呼ばれる流れです。IoTとはいったいどういうものなのでしょう？

成長産業として期待されるIoT市場

- IoTとは、インターネット・オブ・シングス (Internet of Things) の略で、「モノのインターネット」と訳されます。従来インターネットに接続できるのはパソコンなどの情報機器のみでしたが、IoTではあらゆるモノがインターネットにつながります。
- 例えばIoTに対応したブレスレットは、心拍数や走行距離などのデータをインターネットを介して情報端末などで管理できます。また、最近では自宅のペットの状況や不審者の侵入情報などもインターネットを通して外から確認できるシステムも開発されています。将来的には冷蔵庫や洗濯機、エアコンなどの家電製品や自動運転車などもインターネットにつながることが予想されています。
- IDC Japanの発表(※)によると、2014年の国内IoT対応機器の普及台数は約5.6億台、売り上げ規模約9.4兆円に対し、2019年には普及台数約9.6億台、売り上げ規模16.4兆円に達する見通しです。

IoTのイメージ



(※)出所: IDC Japanプレスリリース「国内IoT (Internet of Things) 市場予測を発表」(2015年2月5日)

Point

IoTとは、インターネット・オブ・シングスの略で、ありとあらゆるモノがインターネットにつながっていくことを指しています。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。